



今シーズン雪は多く、子ども達は冬の外遊びを元気に楽しんでいましたよ(^_^)もうすぐ温かい春になりますね。現在、様々な感染症が流行しています。引き続き、うがい、手洗いや、咳エチケットの実施、アルコール手指消毒など、基本の感染症対策で感染予防を心掛けてください。適度な運動で体力をつけ、お子様もご家族の皆様も病気に負けない体作りをして元気に新年度を迎えましょうね。今回は、先月発症者が多かったりんご病について掲載します。流行が長引くことが予想される感染症ですのでご注意ください。

りんご病について🍏



年齢別：0歳～ どのような症状：発熱、頬の赤み、太ももや腕は赤い斑点やまだら模様ができる

伝染性紅斑（でんせんせいこうはん）は、幼児・小学生を中心に発症するウイルス感染症です。ほっぺがリンゴのように赤くなるので、「りんご病」と呼ばれています。

原因となるのは「ヒトパルボウイルスB19」で、冬から春～初夏にかけて、といったように一定の時期・地域で流行し、全国的には4～6年くらいの周期で流行しています。

症状は自然によくなりますが、必要に応じて症状（発疹のかゆみなど）に対する治療が行われます。大人にも移ることがあります。

※妊娠中の母体がこの病気にかかると、おなかの赤ちゃんに異常が出る場合があるので注意が必要です。

※疑われる症状があれば受診し、診断をうけていただきますようお願い致します。

※発症後1～2か月は、運動したり日光にあたりたりすると、赤みがぶり返すことがあります。

EQE

（3月3日） *子どもの耳垢を取る方法について

子どもの耳掃除をするときは、綿棒を使うのが一般的です。通常の綿棒では太すぎるため、ベビー綿棒を使うとよいでしょう。綿棒で耳垢を掻き出そうとすると、かえって奥に押し込んでしまうこともあるため、入浴後、耳が湿っている状態のときに、耳の入り口付近を軽く拭う程度にしてください。

かかりつけの耳鼻科はありますか？

耳鼻科では、鼻炎のほか、普段よく見えない耳の中、耳垢の状況などを見てもらうことができます。（親が耳垢を取ろうとして、耳の中を傷つけたり、耳垢を詰まらせてしまうことがあるそうです）

子どもは耳の病気にかかりやすいので鼻水だけの軽い風邪症状の際など、耳の健康診断をうけるような気持ちで耳鼻科を受診するのもよいかもしれませんね。

🍷 くま組さん歯磨き指導 & 安全教育指導 🍷

2月7日に行ったくま組さん歯磨き指導は、6歳臼歯について紙芝居を見ながら学びました。6歳臼歯が虫歯にならない様、磨き方も実施しました。皆、とても上手に磨けていましたよ(*^_^*) 6歳臼歯は乳歯のさらに奥に生えてくる永久歯で生え変わりはなく、とっても虫歯になりやすい歯です。早い子では4歳半頃から生えはじめますので、お子様の奥歯をよく観察してみてください。

小学生になっても仕上げ磨きをしてあげてください。夕食後のみで

もよいのでお子様と一緒に、これから一生使っていく歯を大切に守っていきましょうね(^_^)また、3月にはいのちの安全教育指導を行う予定です。七飯町から配布されたプライベートゾーンを学ぶ絵本の読み聞かせをし、小学生になっても自分の体を大切にすること、困りごとがあったら周りの大人に相談することなどお伝えさせていただきます。



お知らせ・・・くま組さんはMR(麻疹風疹混合)ワクチンⅡ期の接種はお済みですか？3月までに接種をしないと有料になってしまいますので、お早めに接種することをお勧めします。